

菊池英夫先生，山崎壽雄先生のご退職によせて

流通経済大学社会学部学部長

佐藤 尚人

流通経済大学社会学部では、2014年3月末をもってお二人の先生が定年で退職されます。一般教養で教鞭をとられた菊池英夫先生と、国際観光学科で同じく教鞭をとられた山崎壽雄先生です。

そこで、この流通経済大学社会学部論叢第24巻第2号では、お二人の先生にそれぞれ流通経済大学でのこれまでを振り返っていただき、文章をよせていただくことになりました。

この機会に社会学部を代表して、お二人の先生に、これまでにお世話になったことに対してお礼を申し上げたいと思います。

菊池英夫先生は、1988年の社会学部社会学科の開校と同時に本学部に赴任され、以来現在まで26年間、本学での「英語」教育にご尽力されてきました。「英語」を担当されるだけでなく「1年（基礎）演習」も担当されるなど、本学の教育の大きな3つの柱のうち「リベラルアーツ教育」と「少人数教育」の2つに力を注いでくださいました。その温厚なお人柄は、学生はもとよりわれわれ教員、そして職員の方々にも慕われてきました。

山崎壽雄先生は、2004年4月に本学部に赴任され、以来10年間国際観光学科での教育に尽力してくださいました。その実務経験の豊かさを、「観光インターンシップ」や「観光研修」などにおいて、社会学部が重視する体験を通しての学習、学生がまさに「肌で感じる」学習をすることに活かしていただきました。合わせて、卒業生の組織である「流通経済大学観光クラブ」の世話人の労も長い間とっていただきました。

お二人の先生がた、長い間いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

あらためて社会学部教員一同，心より感謝申し上げます。これからも，どうかお身体を大切にされて，さらにご活躍されますことをお祈りいたしまして，あいさつとさせていただきます。